

多くの人を訪れたG.W中の養老公園

ゴールデンウィーク中の養老公園では、たくさんのイベントが開催されました。

4月29日(金)、こどもの国では端午の節句にちなんだ紙芝居や色紙でのかぶと作りなどが行われ、多くの子どもたちが参加し、端午の節句を楽しみました。

また、同日には春の養老公園写生大会が開かれ、参加者は新緑鮮やかな養老公園の景色を画用紙いっぱいに描きました。なお、写生大会の入賞者は7ページに掲載しています。



作ったかぶとを頭にのせる子ども



並べられた雑誌から好みのものを探す人たち

雑誌リサイクルを開催

5月1日(日)から6日(金)にわたり、町図書館で雑誌リサイクルが開催されました。

図書館では、毎年、保存期限の切れた雑誌や図書を無料で皆さんに差し上げていて、今年もたくさんの雑誌などが並べられました。

初日には、目当ての雑誌を手に入れようと、開催前から多くの人々が待っていました。リサイクルが始まると、人気の雑誌はあっという間になくなっていました。

高校生が開発した商品をどうぞ

5月3日(火)、近隣の高校生が作ったパンや菓子などを販売する大高校生朝市(NPO法人ヨロスト主催)が養老駅前で開催されました。

会場では、参加した大垣養老高校、大垣商業高校、海津明誠高校、市岐阜商業高校、大垣桜高校の生徒たちがそれぞれ自慢の商品を元気いっぱいに販売しました。

販売後、生徒たちからは「私たちが一生懸命考えて作った商品をたくさんの人に知ってもらえるいい機会になりました」と感想がありました。



袋いっぱいに購入したお客に商品を手渡す高校生ら



地区の人といっしょに楽しくプレー

地域のつながり、池辺地区球技大会

5月8日(日)、第43回池辺地区球技大会が池辺小体育館などで開催されました。ソフトボールやソフトミニバレーボール、バレーボール、ゲートボール、ペタンクの6種目の競技が各地区のチーム対抗で行われました。

バレーボールでは、サーブが決まると同じ地区の人とハイタッチをして喜びを分かち合っている光景が見られました。また、どの会場でも周りから大きな声援が送られるなど、地域での交流を深めていました。